



左 / ザネレ・ムホリ《Bester I, Mayotte》2015年 Zanele Muholi Courtesy of Yancey Richardson Gallery タグチ・アートコレクション
 右上 / オラファー・エリアソン《4つのサンクッカーライト》2006年 Olafur Eliasson / Courtesy of Gallery Koyanagi Installation view at Gallery Koyanagi, Tokyo, 2006 Photo Nao Tsuda タグチ・アートコレクション
 右下 / リチャード・モス《Dead Leaves and Dirty Ground II》2011年 courtesy of the artist and carlier | gebauer, Berlin タグチ・アートコレクション

社会性なきところに 現代アートの魅力はない

アートの評価が審美的観点のみならず社会的観点からも語られるようになり、国際美術展などでは社会性を志向する作品が存在感を強めている昨今、様々な国・地域のアーティストが、現代の社会問題（紛争、人種、移民、LGBTQ など）に目を向けた作品を制作し、平和を希求しています。本講演では、長年アート・ディーラーとして活動してきた塩原将志氏が「社会性」という観点から近年注目の現代アートを紹介し、その魅力を語ります。

講師 塩原 将志 (アート・ディーラー)

日時 2021年 12月 26日(日) 10:30 ~ 12:00 (10:00 開場)

場所 SCARTS コート (札幌市民交流プラザ 1階) (札幌市中央区北 1条西 1丁目 / 地下鉄大通駅 30番出口から西 2丁目地下歩道より直結、徒歩 2分)

定員 会場聴講 60名 / オンライン聴講 60名 (事前申込制) **料金** 500円

塩原 将志 Masashi Shiobara アート・オフィス・シオバラ代表

1962年群馬県赤城山生まれ。アート・ディーラー / アート・アドバイザー。1987年株式会社日動画廊入社。ギャラリー日動ニューヨーク INC. 代表。1989年リオ・キャストリに会い、1990年日動画廊にて現代アメリカ作家展「Leo Castelli's Artist」を手掛けた。2000年タグポート創始時期よりアドバイザーとして参画。2004年アート・オフィス・シオバラを設立。また nca (日動コンテンポラリーアート) の顧問も務める。これまでに、東京都現代美術館発信の日本初の美術館ラジオ「MOT the Radio」を立ち上げ、自らナビゲーターも務めた。2005年から美術品評価査定機構事務局として活動。三菱地所アルティアム「For Rent! For Talent!」審査員 (2008)、トーキョーワンダーサイト、ワンダーシード審査員 (2008 / 2009)、第4回アーティクル賞審査員 (2011)、Japan Fashion Photo 審査員 (2011) を務めた。2011年より、雑誌「PAVONE」アートコラム寄稿中。



申込方法 11月26日(金)受付開始

- 会場聴講 電話受付 (先着順) ☎ 011-642-5709 受付時間 9:30 ~ 17:00 月曜日休館
- オンライン聴講 右記 URL より申し込み <https://chobi20211226.peatix.com>

※申し込みには会員登録が必要です。
 ※オンライン聴講は、定員に達しない場合でも12月24日(金)に受付を締め切ります。
 ※オンライン聴講をお申込みの方は、後日アーカイブ映像をご覧ください (7日間限定)。

